

令和8年9月11日
北九州市産業経済局

報道機関各位



国が公募した『GX戦略地域』に 北九州市を含む「福岡県」が認定されました

国は昨年、2050年のカーボンニュートラルを実現するための取組みとして、脱炭素電源等を核にGX型の産業クラスターの創出を目指す『GX戦略地域制度（データセンター集積型）※』を創設しました。

昨年12月に経済産業省より、この『GX戦略地域』の選定に関する公募がなされ、福岡県が「データセンター集積型」として申請いたしました。

本日、経済産業省から、『GX戦略地域』が発表され、北九州市を含む福岡県が認定されましたので、発表いたします。

■発表日：令和8年9月11日（金）

【経済産業省HP】<https://www.meti.go.jp/press/2026/09/20260911006.html>

※ GX戦略地域（データセンター集積型）とは、令和7年2月に閣議決定された「GX2040ビジョン」の方針を踏まえ、クリーンエネルギーによる電力や通信インフラ等の効率的な整備とデータセンターの集積、及びデータセンターを核とした新たな産業クラスターの形成を目指すもの。

【問い合わせ先】

産業経済局企業誘致課 柿野(課長)、高井良(係長)
電話:093-582-2065

武内市長のコメント

今回のGX戦略地域への認定は、北九州市の充実したグリーンエネルギー、産業基盤と将来性が高く評価され、国家的なデジタル・AI社会を支える「心臓部」として選定されたものであり、大変光栄、かつ責任の重さを感じます。

国の「GX戦略地域」に福岡県（北九州市・直方市・鞍手町）が 正式に認定されました

～データセンターを活用したさらなる産業振興・発展を目指して～

国は昨年8月に、脱炭素電源が豊富な地域へデータセンターの分散立地を促し、デジタルインフラの強靱化、GX推進と地域産業のDXの推進、新たな産業クラスターの形成を目指す「GX戦略地域^{※1}」制度を創設しました。

本制度について、昨年12月から2月にかけて地域選定のための公募が行われ、4月には「GX戦略地域」（データセンター集積型）の「有望地域^{※2}」に、本県を含む9地域が選定されました。

今回、その有望地域の中から最終審査が実施され、福岡県（北九州市・直方市・鞍手町）が「GX戦略地域」に正式に認定されました。

今後、国の支援を最大限に活用し、関係事業者、自治体と連携しながら、大規模データセンターの集積を図るとともに、GX関連産業の一大拠点の形成を目指します。

※1 令和7年2月に閣議決定されたGX2040ビジョンの方針を踏まえ、GX産業立地政策の具体的な措置として「GX戦略地域制度」を創設。

産業集積やワット・ビット連携（電力・通信インフラの一体整備）を促進し、「新たな産業クラスター」の創設を目指すこととし、地域選定を行う3類型（① コンビナート等再生型、② データセンター集積型、③ 脱炭素電源活用型）と事業者選定を行う「④ 脱炭素電源地域貢献型」に分類。

GX戦略地域（② データセンター集積型）に指定された場合は、電力・通信インフラその他インフラの整備促進、DCの利活用施策（＝AI関連施策）が一体的に講じられる。

※2 「有望地域」とは、GX戦略地域の選定過程において、一次審査として選定されたもの。